

「第4次青森県DV防止・被害者支援計画」関連事業の実施状況等

基本目標Ⅰ DVを許さない社会づくり

重点目標1 人権感覚・人権意識の育成

【重点目標の評価及び推進】

- ・関係機関が人権啓発につながる事業を継続して実施しており、人権教育の促進が図られています。
- ・特に、学校等の教育現場においては、子どもの人権啓発活動を実施するなど、若年層に対する教育を推進し、DVの発生の防止につながる取組が図られています。
- ・男女共同参画については、青森県男女共同参画センターなどにより、様々な場で事業、活動が広範に展開されており、女性人財の育成や普及啓発など、より一層の推進が図られています。

番号	事業名等	令和元年度	担当課
施策の方向 (1)地域、学校、家庭等における人権教育の推進			
①	命を大切にすることを育む県民運動推進事業	<p>命を大切にすることを育む県民運動の更なる定着と、子どもたちが孤立感を抱えることなく、たくましく生きていく力を培うために、下記の事業を実施した。</p> <p>①命を大切にすることを育む県民運動推進フォーラムの開催 ・日時 令和元年12月8日(日) ・場所 県民福祉プラザ(青森市) ・内容 笑顔の未来へメッセージ作品表彰式、講演(羽賀翔一氏)、地域との絆づくり応援事業活動報告(2団体)</p> <p>②命を大切にすることを育む絆プロジェクト事業の実施 ・未来へのメッセージ作品を募集し、優秀作品を表彰したほか、カレンダーを作成し配付 ・2つの地域活動団体に業美卓志、子どもたちに様々な体験活動を提供(地域との絆づくり応援事業)</p> <p>③地域の見守りで輝く笑顔推進事業の実施 ・県内一斉声かけ活動を年4回実施 ・県内12校において、他人を思いやり命を大切にすることを対話集会を実施</p> <p><目標値> フォーラム参加者数 280名</p> <p>(最終予算額) 9,107千円(負担割合:県10/10)</p>	環境生活部青少年・男女共同参画課
②	小中学生に対する人権教室	<p>以下のとおり人権教室を実施した。 (回…実施回数, 名…対象人数) ・幼稚園・保育園…7回, 261名 ・小学校…206回, 6499名 ・中学校…18回, 1766名</p> <p>計…231回, 8526名</p> <p>人権教室の中でアンケートを実施し、その結果から、児童・生徒の人権尊重の意識を高められたと言える。</p>	青森地方法務局人権擁護課
③	ハートフル・コミュニケーション推進事業	<p>DVの発生と深刻化を防止し、DVのない社会づくりを促進するため、県内中学校において、参加型体験学習(ワークショップ形式)によりセミナーを開催した。</p> <p><目標値> 県内中学校 6校(438名) セミナー理解度 99.3%</p> <p>(当初予算額) 588千円</p>	健康福祉部こどもみらい課

番号	事業名等	令和元年度	担当課
④	青少年に対するデートDV予防啓発	以下の学校に対してデートDVに関する講演会等を実施した。また、アンケートの結果から、人権尊重の意識を高められたと言える。 <ul style="list-style-type: none"> ・青森中央学院大学 ・青森中央短期大学 ・青森県立田名部高等学校 ・五所川原市立金木中学校 ・青森県立五所川原農林高等学校 ・弘前学院大学 ・弘前医療福祉大学 ・弘前大学 ・東北女子大学 ・弘前市立第二中学校 ・八戸工業大学 ・八戸学院大学 ・青森県営農大学校 	青森地方法務局 人権擁護課
施策の方向 (2)男女共同参画の推進			
⑤	男女共同参画推進事業	市町村の男女共同参画行政の一層の推進を図るため、市町村の男女共同参画行政担当者研修会を開催するとともに、市町村担当者と連携を密にし、その進捗状況を確認の上、男女共同参画社会づくりに向けた基本計画改定等を促進するための支援を行った。 <実績値> 男女共同参画基本計画市町村策定割合100% (最終予算額) 173千円(負担割合: 県10/10)	環境生活部青少年・男女共同参画課
⑥	あおもりウィメンズアカデミー	男女共同参画の視点を持って意思決定の場への参画やキャリアアップなど、地域や企業等で活躍できる女性人財を育成するため、地域で活動したい女性を対象とする「地域女性リーダーコース」(大間町・外ヶ浜町)と、企業等で働く女性を対象とする「働く女性リーダーコース」(青森市)を開催した。 <実績値> 地域女性リーダーコース修了者19人、働く女性リーダーコース受講者51人 指定管理事業	青森県男女共同参画センター
⑦	いきいき男女共同参画社会づくり事業	男女共同参画社会の実現に向けて、顕著な功績があった個人を表彰し、県民の関心を高めた。 高校1年生を主な対象として、身近な視点で男女共同参画を理解するためのパンフレットを作成し配布した。 ・功労賞 須藤恵子氏(むつ市) ・女性のチャレンジ賞 高村るり子氏(五戸町) 町田直子氏(八戸市) LEE NYOK PENG氏(黒石市) <実績値> 上記4名表彰 啓発用パンフレット13,500部作成 (最終予算額) 287千円(負担割合: 県10/10)	環境生活部青少年・男女共同参画課

番号	事業名等	令和元年度	担当課
⑧	普及・啓発事業	<p>「男女共同参画フェスティバル2019アピオあおもり秋まつり」を開催し、講演会、活動紹介、ワークショップ、各種販売等を通して、「男女共同参画」を学び、考え、行動に移す機会を提供した。</p> <p>・開催日 令和元年11月9日(土)</p> <p><実績値> 来場者数:1,500名</p> <p>指定管理事業</p>	青森県男女共同参画センター
⑨	地域ネットワーク活動支援事業企画運営	<p>県内6地域にある男女共同参画ネットワークが実施する学習会等に対する支援を行った。</p> <p><実績値> 県内6カ所で学習会等を実施</p> <p>指定管理事業</p>	青森県男女共同参画センター
⑩	情報誌発行事業	<p>男女共同参画の視点に立った情報誌を発行し、男女共同参画の普及啓発を図った。</p> <p>・令和元年9月 5,000部 ・令和2年2月 5,000部</p> <p><実績値> 読者アンケート5段階評価 8月号4.1及び2月号4.0(平均4.0)</p> <p>指定管理事業</p>	青森県男女共同参画センター
⑪	地域農業を支える普及活動推進事業(農山漁村女性の経営参画推進普及活動)	<p>女性の経営参画による経営力強化と地域の活性化に向け、女性農林漁業者の経営参画促進やリーダーの育成に取り組んだ。</p> <p>(1) 女性の経営参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進会議の開催 12回(5月～7月、各県民局) ・女性の経営・社会参画セミナーの開催 17回(6月～1月、各県民局) <p>(2) 農山漁村女性リーダーの人財育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ViC・ウーマンの認定 新規認定10人 (ViC・ウーマン総数297人) ・農山漁村女性と知事との新春夢トークの開催 1月9日青森市「ホテル青森」 ・「農山漁村女性の日」青森県大会の開催 2月17日青森市「ホテル青森」 新規ViC・ウーマン10人への認定証書授与及び認定期間満了者35人への感謝状授与 <p>(3) 仲間づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の仲間づくりと交流会の開催 8回(県民局段階6回、県全域2回) <p><実績値> ViC・ウーマン新規認定数 10人</p> <p>(最終予算額)1,568千円</p>	農林水産部農林水産政策課
⑫	小・中学校「男女共同参画」意識調査	基本目標 I-1②号の実施状況のとおり	青森地方法務局 人権擁護課

「第4次青森県DV防止・被害者支援計画」関連事業の実施状況等

基本目標Ⅰ DVを許さない社会づくり

重点目標2 DVについての正しい理解の普及と予防啓発

【重点目標の評価及び推進】

- ・関係機関及び民間団体が連携し、DV防止に関するリーフレット等の配布や講演会の開催などの啓発活動を継続して行っており、県民への正しい理解の普及が図られています。
- ・「女性に対する暴力をなくす運動」と連動してDV被害防止及び予防啓発活動を展開するなど、関係機関や団体を巻き込んだ取組を継続しており、女性に対する暴力の根絶に向けた取組が図られています。

番号	事業名等	令和元年度	担当課
施策の方向 (1)県民への正しい理解の普及と予防啓発			
⑬	DV防止広報事業	DV防止リーフレット、DV防止啓発カード等を作成し、配布した。 <実績値> カード配布枚数 23,180枚 リーフレット配布枚数:5,085枚 (最終予算額) 787千円	健康福祉部こどもみらい課
⑭	人権啓発ビデオの整備・貸出及び講演・講座等の実施	DVD貸出し回数・・・54回 講演会……………実施回数 8回 対象人数 303名	青森地方務局 人権擁護課
⑮	デートDVパンフレットの作成・配布	デートDVリーフレットを作成し、公共機関や講座の開催時等に配布した。 性暴力被害者支援センターの連絡先等を記載したデートDVに関するリーフレットを作成し、イベント出前啓発やセンター事業時に配付した。 指定管理事業	青森県男女共同 参画センター
施策の方向 (2)女性に対する暴力の根絶に向けた取組の充実			
⑯	「女性に対する暴力をなくす運動」への積極的な取組	「女性に対する暴力をなくす運動」をDV被害防止及び相談促進を図る機会ととらえ、全県的な広報啓発活動を展開した。 交番等発行のミニ広報紙での広報、青森県立中央病院デジタルサイネージでの広報、女性の犯罪被害防止講習会等でのDV防止講話等を実施。また市町村主催の「パープルリボンキャンペーン」に参加し、DV及びストーカー被害の相談窓口等を記載したリーフレットを配付し、広報した。	警察本部少年女性安全課
⑰	「女性に対する暴力防止キャンペーン」	アスパムにおいてパープルライトアップキャンペーンを実施した。また、アピオあおもり秋祭り及び青森市アウガ前において、パープルリボンキャンペーンを実施し、女性に対する暴力根絶のための周知啓発を行った。 <実績値>パープルリボンキャンペーン参加者約100人 指定管理事業	青森県男女共同 参画センター
⑱	有害図書等点検・立入調査事業	青森県青少年健全育成条例に基づき、書店、危険器具販売店、個室カラオケ営業店、図書類等収納自動販売機等を対象に点検・立入調査を実施し、有害図書等(著しく青少年の性的感情を刺激し、粗暴性又は残虐性を助長するもの)について指定するとともに、業者に対する指導等の必要な措置を講じた。 <実績値> 有害図書類取扱店舗において、区分陳列等の青少年に対する配慮を行っていない店舗の比率 2.4% (最終予算額)745千円(負担割合:県10/10)	環境生活部青少年・男女共同参画課
⑲	県民に対するDV講話の実施	県内企業・大学・短大や専門学校等へ赴き、女性を対象とした犯罪被害防止講話(DVを含む)を実施した。	警察本部少年女性安全課

番号	事業名等	令和元年度	担当課
施策の方向 (3)DVに関する情報収集・提供			
⑳	青森県DV防止対策推進会議	「配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画」関連事業の実施状況を評価し、評価結果の公表及び効果的な施策の推進を図った。 <実績値> 会議開催回数 1回 (最終予算額) 67千円	健康福祉部こどもみらい課

「第4次青森県DV防止・被害者支援計画」関連事業の実施状況等

基本目標Ⅰ DVを許さない社会づくり

重点目標3 加害者更生のための取組の推進

【重点目標の評価及び推進】

- ・中学生を対象とするハートフル・コミュニケーション推進事業に加え、中学生から大学生までを対象としたデートDV予防啓発事業等を継続して実施しており、若年層に対するDVに関する正しい理解や意識啓発の促進によりDV予防対策の推進が図られています。
- ・今後の推進については、DV予防対策を継続するとともに、加害者更生に関する国や他都道府県における取組の情報収集に努め、加害者の相談への対応について、関係者の理解と関係機関での連携を図ります。

番号	事業名等	令和元年度	担当課
施策の方向 (1)加害者更生に関する研究			
①	ハートフル・コミュニケーション推進事業	(*再掲Ⅰ-1-(1)-③)	健康福祉部こどもみらい課
②	青少年に対するデートDV予防啓発	(*再掲Ⅰ-1-(1)-④)	青森地方法務局 人権擁護課
施策の方向 (2)加害者の相談への対応の検討			
③	「配偶者暴力加害者対応マニュアル」の周知	加害者対応の知識や方策の習得及び被害者支援に向けて、内閣府男女共同参画局が作成した「配偶者暴力加害者対応マニュアル」をDVセンター、市町村等DV被害者支援に当たる相談・保護及び自立支援等を中心的な業務とする機関からの求めに応じ、適宜配布する。	健康福祉部こどもみらい課